

会 議 録

| | |
|-------|--|
| 会議の名称 | 平成 28 年度 飯塚市環境審議会(第 3 回) |
| 開催日時 | 平成 29 年 3 月 24 日(金)10:00~11:30 |
| 開催場所 | 飯塚市役所 本庁 2 階 201・202 会議室 |
| 出席委員 | 依田委員、石橋委員、坂田委員、熊井委員、岩本委員、衛藤委員、上田委員、梅野委員、吉柳委員、後藤委員、野見山委員、岡松委員、梅沢委員 |
| 欠席委員 | 城丸委員 |
| 事務局職員 | 新ヶ江課長、中村係長、野口 |
| 会議内容 | <p>1 開会 2 議題</p> <p>(1) 平成 29 年度事務事業実施計画【第 2 次飯塚市環境基本計画事務事業一覧】について 事務局から議題(1)について説明後、質問委員ごとに対する回答</p> <p>○質問-回答</p> <p>●ごみ出しルールの啓発 何の「実施方法等」が検討されるのでしょうか。 →ごみ出しルールの啓発方法として、自治会や公民館を通じたチラシの配布や市報への掲載などを考えています。</p> <p>●自然を学ぶ機会の充実 野鳥観察や星空鑑賞などの講座の現状を教えてください。 →【野鳥観察】 4 月に八木山小学校で総合学習の時間にて野鳥の名前や鳴き声、習性などの観察授業をするため、ボランティア登録者を派遣しています。(平成 28 年度実績:対象者 27 名、派遣人数 3 名) 【星空観賞】 毎月 2 回、大将陣スタードームにて天文に対する興味・関心を高めるため、星空観察を実施し、ボランティア登録者を派遣しています。(平成 28 年度実績:対象者 120 名、派遣人数 24 名)</p> <p>●全体 環境整備課が担当する事業が非常に多いように見えます。担当事業に関して、優先順位は決められるのでしょうか。 →各事業に関しては、どの事業も必要な事業と考えていますので、優先順位は付け難い状況です。しかし、現実的には財源を必要とせず、容易に実施できるものから推進しているのが現状です。</p> <p>●ごみ出しルールの啓発 他の自治体の啓発方法についての調査を実施されたことがありますか。</p> |

→他の自治体の啓発方法についての調査は行っていません。

●全体

平成 29 年度の事業計画については、計画に基づき実施されていかれると思いますが、特に平成 29 年度に重点実施目標におかれている事業計画についてお尋ねします。

→どの事業も必要な事業と考えていますので、明確に重点実施目標を設定することは難しい状況です。しかし、中間見直し前に未実施となっていた事業内容の見直しを行ったことから、当該事業については、積極的に実施できるよう努めます。

●産業廃棄物の適正処理

「県」は「嘉穂地区廃棄物不法処理防止連絡協議会」も含んでいるのでしょうか？

→嘉穂地区廃棄物不法処理防止連絡協議会（窓口：福岡県嘉穂・鞍手保険福祉環境事務所環境指導課）の構成員として、環境対策課が参加していますので、当該協議会についても、県との連携に含めて考えています。

●ポイ捨て禁止モデル地区の検討

モデル地区として、新飯塚駅周辺を検討されてはどうでしょうか？朝夕は通勤・通学が多く、特に第一中学生も JR 新飯塚駅を利用しており、教育の面からもタバコの規制は良いかと思います。

→事業名としては、モデル地区の検討としていますが、中間見直しにより、地区を限定せずポイ捨て禁止に関する周知・啓発を行うこととしていますので、具体的なモデル地区の選定は実施しません。しかしながら、周知・啓発を行う重点地区として取り扱うことは可能かと考えます。

●適切な森林の管理・保全

植林について、具体的な計画（樹種等）に基づいて実施しているのでしょうか？

→民有林（国有林を除く）の植林・保育・間伐・主伐等の整備については、森林法の規定により策定される全国森林計画に基づき、県が策定する地域森林整備計画に従って、本市が策定している「飯塚市森林整備計画」により実施しています。戦後間もない時期に一斉に植林された山林については、主伐期が訪れていますが、補助事業等を活用してもなお、搬出費用等の負担増があることから、多くが現状維持に留まっている状況です。

●防災研修の推進

女性の参加を推進されてはどうでしょうか？

→出前講座での防災に関する講話において、女性の方々の多数の参加を頂いています。災害対応においては、女性の役割も重要となり、特に災害時に避難所等で女性に必要な配慮について、女性の視点からの意見が必要となりますので、今後とも女性の積極的な防災の研修や講話への参加を促します。

また、平成 28 年度より飯塚市地域防災リーダー研修を行い、44 名の防災リーダーが認定されました。そのうち 6 名が女性です（約 14%）。平成 29 年度飯塚市地域防災リーダー研修についても女性の参加率が上がるように積極的に周知します。

さらに、災害対応において、「主体的な担い手」として女性を位置づけるには、日頃から関係を密にし、災害発生の際に速やかに対応できるように地域や職域においての男女共同参画を推進していきたいと考えています。

そのうえ、災害発生後に避難所を開設する際には、避難所運営組織の運営本部における主要な役職に女性を配置するなど、今後も災害現場という非日常的なケースにおいて女性が主体的に活動できるように取り組んでいきます。

●全体

市民の声を各施策に反映しやすくするような情報共有の推進及び工夫を検討してはどうでしょうか？

→基本計画策定時や改定時などには、市民の声を反映するため、ワークショップやパブリックコメントを実施しています。

また、年度ごとの事務事業実施計画の策定時には、各課で把握している課題などを解決できるように、市民意見を反映しているほか、環境保全団体の代表者等が参集する「いづか環境会議」定例会を活用して、行政・市民相互の情報共有を図っています。

●荒廃林対策

事業計画に、「人工林の再生活動」とありますが、人工林限定の再生活動ということでしょうか？取り組みの方向性では、「里地里山の保全」とありますが、里地里山は=人工林ではありません。里地里山を含むのであれば、人工林だけ言及するのではなく、事業名そのままに「荒廃林の再生活動」あるいは「荒廃した森林の再生活動」とした方が意味が広がり、よいのではないかと思います。

→この事業に関しては、森林環境税の活用を前提に内容（見直後）を記載しており、対象が人工林（スギ・ヒノキ）と限定的になっている状況です。しかし、年度の事業計画上、環境活動団体の取組情報を広報し、活動の拡がりを推進することを目的としているため、事業計画内での記載については、「人工林の再生活動」と限定せず、「荒廃した森林の再生活動」に改めます。

●自然とのふれあいの場、機会の充実

事業計画に、「効率的・効果的な公園づくり等を進めます。」とありますが、効率的・効果的な公園とはどういう公園を意味しますか？

→「効率的・効果的な公園づくり等」とは、平成 22 年度に策定しました「飯塚市緑の基本計画」に掲げた 4 つの施策の方針により進めていく公園等を意味しています。

なお、4 つの施策については、以下 4 点です。

①既存公園の改善と活用、

| | |
|----------|---|
| | <p>②都市公園等の計画的整備、 ③特色ある拠点づくり、 ④水、緑、歴史のネットワークづくり</p> <p>近年の主な取組みでは、①については、平成 25～26 年度に行った「飯塚緑道」及び「大将陣公園」の再整備、②については、平成 25 年度に整備した「飯塚健幸交流広場」また、③④については平成 27 年度に行った「鳥羽公園」、「鶯塚公園」、「かいた中央公園」に設置した健康遊具及びウォーキングサインの設置があり、今年度は「遠賀川河川敷（中之島）等」にも水辺を回遊できるウォーキングサインを設置しています。</p> <p>(2) (報告) 第 2 次飯塚市環境基本計画の中間見直しについて (3) その他 ・飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）達成状況</p> <p>3 閉会</p> |
| 会議資料 | <p>資料 1：平成 29 年度事務事業実施計画一覧 資料 2：第 2 次飯塚市環境基本計画中間見直し実施後事務事業一覧 資料 3：第 2 次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）達成状況資料</p> |
| 公開・非公開の別 | <p>1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人)</p> |
| その他 | |